



記念式典で式辞を述べられる井深実行委員長（10. 18）

第2運動場となる  
東隣接地（3000坪）の披露（10. 18）

## 創立60周年記念式典盛大に挙行

### 記念事業 校地拡張成る

昨秋十月十八日（土）母校本巣高校

に於て創立60周年記念式典が盛大に挙行された。一昨年、昭和54年11月30日、P.T.A.・学校・同窓会各4名の、12名による第一回代表者合同会議を皮切りに、その後、常任準備委員会・準備委員会が発足、井深同窓会長をそれぞれの委員長に選任して、記念行事・事業等が精力的に協議され、準備がすすめられた。

本年度に入り、準備委員会を実行委員会に切りかえ、行事・事業の細部にわたり練りあがれていた。

その間、同窓会では一二〇〇万円目標の募金運動を積極的に展開し、予想を上回る会員の支援を仰ぎ、又同時に記念事業の一つとして取り組んできた「会員名簿」発行作業を急ぎ、八月に上梓をみ

た。準備万端滞りなく整い、秋色深まる10月18日午前10時、母校体育館に、横山県出納長はじめ来賓多数、同窓会員、高等學校長、中學校長更には大勢の旧職員、その他多くの来賓を交え盛大かつ厳謹な式典が挙行された。

開式に先立ち、本校有縁の千二百余名の物故者の靈を慰めるため、飯尾教頭の弔辞にひき続き、敬虔な默祷を捧げた。中村P.T.A.会長の開式の辞のあと、実行委員長井深会長の式辞。60年前の創設時を想起し感慨無量の思いを披露され、新校地取得に至る辛苦と、そのため寄せられた多くの人々の篤志に対し深い謝意を述べられた。統いて関谷校長が、地拡張の喜びと感謝のことばを表され、伝統を受けつき更に大きく飛躍すべく自覚と誇りをもつて、生徒ともども一段と精進する決意を述べて挨拶とされ

た。

○同窓会功労者  
八代春雄、土屋淑子  
○P.T.A.功労者  
野々村進、寺田巖、福田継良、松浦一郎、杉山潔  
○土地關係功労者  
高橋博、上谷伊三郎、鶴飼みすを、堀部利市、堀部七五三、大野進  
横山県出納長（中18卒）が知事の祝辭を代読され、松野県議、堀教育長、地元町村を代表して堀部省吾町長、最後に幸脇校長が祝辞を述べられた。

生徒代表の喜びのことばに統き、盛典を祝す祝言舞囃子「高砂」が小島一英観世流能楽師範（高七回卒）により舞われ、地謡として関谷正一、戸部秀済、松尾克美（共に同窓生・旧職員）諸氏らによつて上演、喝采を受けた。

校歌齊唱のあと、山田同窓会副会長によつて閉式の辞が述べられ二時間にわたる盛典の幕を閉じた。

この式典を機に50周年以降、本校発展に功績があつた方々に感謝状と記念品が贈られた。

○特別功労者（以下敬称略）  
加藤利一（本中4回卒・前川崎重工KK副社長、財團法人加藤記念奨学会設立）

○歴代校長  
松尾克美、玉信一、豊田義道  
○永年勤続者（10年以上）  
藤井淳、細野清巳、後藤光昌、二俣貞人、安田寅生、松葉弘明、古田温、三品寿子、酒向みさ子、沢村寛、河野智恵、酒井弘太郎、大脇尚爾、桑原龍昭、富田栄、渡辺洋子、村瀬辰美、今井淳、翠ナツエ、安藤良吉、伊藤千代子

募金目標大きく上回る

一二二〇余名により千六百四十一万円に—

60周年記念事業の主事業であった校地拡張は、県・地元町村・PTA、更に多くの同窓生諸氏の熱意と多大の支援のもとに、その成

果を見るに至り、現在三月完成をめざし、ブルドーザーが入って三千坪の整地・整備が急がれている。

## 創立六十周年の式典を終えて

同窓會會長 井深

透

に作り、諸氏の篤志を待つた。

和やかな謝恩会の二こま (10・18)

炳 近年稀に見る豪雪で寒氣殊の外厳しい折  
柄 同窓会員の皆様には益々御健勝にて  
各方面に御活躍精進されて居ります事  
は、大慶至極に存ずる次第で御座います  
光陰矢の如くと申しまして、歳月の流れ

終了致しました。二十日には前上智大学教授で、栄光学園の理事長グ・スタッフ・フォス氏の「正しい青春は力のもの」という演題のもとに記念講演があり、非常に深い感銘を受けました。

一方では会長・当社長役員諸氏も特別努力で依頼に足を運ばれ、更には、募金中間報告書を兼ね、各回理事、各支部には格別の支援を依頼したりた。

語此の熱心な夏会活動、更にいき合意彼此の暖かいご支援に支えられ、振込み期限を一応六月末とし、その頃すでに目標額に近づき、役員一同安堵し喜び合つた。その後更に次ぎ次ぎと篤志が寄せられ、10月式典を迎える頃には、目標額を大きく上回り、千六百四十万円の募金をみるに至つた。

謝恩会 恩師多数を交えて

式典当日は幸いに天候に恵まれ、厳寒の裡に盛大に開催無く式典が終了致しました事は、御同慶の至りに存じます。式典終了後、校地披露が行われました。母校の多年の宿願でありました校地拡張が実現致しました事は、本巣高校の歴史の上に特筆大書される事と存じます。第二運動場は高さ十三メートルのフェンスにて囲み、高さ十メートルのバックネットと両翼に九メートルの防球ネットがはらえ、立派な運動場になり硬式野球が出来るグランドになるので御座いまして、三月末には完成する予定で御座います。

校地披露の後、加藤記念奨学会主催の関係者懇親会が催されました。前後の行事の間隔を二時間としまして、前半は懇親会で、後半は懇親会で、両者ともに充実した内容でした。

細報告書の通りで御座りますか。募金の総額はお預りを持ちまして予定額を遥かにオーバー致しました。そのオーバー致しました部分に更に P.T.A の協力を得まして、六十年周年記念事業と致しまして、体育館の縦幕並に関連施設と第二運動場の関連施設として、器具庫並に生徒合宿所を母校に寄贈致しました。台宿所は平素合宿場に使用しない時間は、お茶、花、琴等の部活動に使用されるもので、一日も早く完成使用されます事を期待致して居るので御座います。

尚、同窓会の過去一ヶ年間の歩みを御報告申し上げますと、昨年二月には揖斐郡教育職員本巣高校同窓会、八月には関西支部会、十二月には名古屋支部会が開催されました。

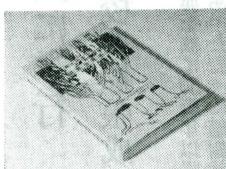
校地拡張の後、加藤記念講学会主催の関係者懇談会が催されました。前後の行事と関係なく、上短時間ではありますましたが、前途春秋に富む有為な青年二十数名が会合し、非常に有意義でありました。

その後、政田の昇平閣で恩師の謝恩会が百余名の参加を得て、盛大に開催されました。謝恩会はかつての青春の時代に思ひを致し、尽きぬ教々の思い出話に花を咲かせ、なつかしい、恩師を囲んで時間の経過

尚、同窓会の過去一ヶ年間の歩みを御報告申し上げますと、昨年二月には揖斐郡教育職員本巣高校同窓会、八月には関西支部同窓会、十二月には名古屋支部の同窓会が夫々開催され、非常に盛大に、なごやかなムードの裡に会員相互の友情の輪を広げ、且つ友情の絆を強められたので御座います。寒さも暫く続きますが、何事も健康に充分御注意され、益々御元気で御活躍されます事を祈念致しまして御挨拶と致します。

実行委員高木つた子さんによる司会を兼ねた開会の挨拶、井深会長、閔谷校長の挨拶につづいて、安藤清元同窓会会長の音頭で乾盃し、その後なごやかに懐旧談が各テーブルで交わされた。

飯尾教頭によるエピソードを交えた楽しい恩師紹介、その後恩師を代表して小倉先生の挨拶があり、拍手と賑やかな笑いの中で時の



会員名簿発行

過ぎるのを忘れた。来年度の総会開催地岐阜の支部長佐倉式三氏の万歳三唱で、6時過ぎ会を惜しみながら閉会した。

一昨年5月の役員会では先ず5年目ごとに発行してきた会員名簿を、60周年記念事業の一つとして出版することが決った。

55年1月の理事会で名簿発行特別委員会を発足させ、発行準備をすすめた。54年7月に全会員に異動調査カードを発送し、返信をまつて原稿作成。同時に経費補填のため広告の協賛を呼びかけ、役員・各支部の方々の一方ならぬご尽力を得た。

膨大な作業量に忙殺されながらも、予定通りやや遅れたが、55年8月、三千三百部を発行し、予約者・広告主・役員等に発送することができた。

予約者以外にも希望者のあることを予想し

準備し、その後希望に応じて いるが、現在約二〇〇部ほど残部がある。頒布代金は二千五百円（郵送代を含む）ですので、ご希望のむきは本巣高等学校同窓会事務局までお申込みください。

お盆の土曜日とあって、出席者の出足が心配されたが、六十余名の出席を得て、佐倉岐部長の司会で総会は始まり、林秀一氏の開会の挨拶、井深会長・閔谷校長の挨拶のあと、翠正明氏の議長で議事に入った。事務局より会務報告、会計決算報告、監査委員西鶴子氏の監査報告、続いて飯尾教頭より、創立50周年記念奨学金給付報告、次いで事業報告として、名簿発行、募金の情況報告、60年記念行事（謝恩会）の計画報告等があった。そのあと、募金の方法について、また支部への補助金等についての意見が寄せられ、それぞれ今後審議善処する旨の答弁があり、その後全議案が盛大な拍手で可決された。

昭和五十五年八月十六日（土）午後二時より、北方町の「濃鳳会館」で、55年度の総会が開かれた。従来より、記念行事のある年の総会は本部地ということになっており、昨年総会は本部地で開催され、引き続き北方町で開催。

昭和五十五年度

総会後は隣室に席をかえ、和やかな談笑が続き、夕刻盛会裡に散会した。

クラス代表百名選出

岐阜文部長 佐倉式三

昨年四月十九日第一回の役員会を本部から井深会長、八代副会長、富田先生ご出席の応援を得て開きました処、本年は母校創立六〇周年でもあるから是非再建させてはと異議なく決まりました。

以来役員会を開くこと数回、十月に漸く全クラス代表（中学校三〇名、女学校三二名、

取 入 の 部		創立60周年記念事業収支報告書			(単位 円)
項 目	費 用 目	金 額	備		
寄 付 金		23,303,000			
同 慶 会 寄 付 金		16,410,000	2,225人	1口2,000円	
P T A 寄 付 金		4,161,000	1,311人	1口3,000円	
一 般 寄 付 金		2,732,000		一般商店企業48 職員59人	
積 立 金		32,991,018			
学 級 後 援 会 積 立 金		4,805,980			
P T A 積 立 金		34,996,228			
雜 取 入		542,782			
雜 収 入		542,782			
合 计	計	62,646,000			

支 出 の 部	項 目	費 用	予 算 額	支 出 額	未 払 額	残 額
総 務			1,742,000	1,036,677	667,000	38,324
印 刷 費		601,000	185,863	405,500		9,637
記 録 広 報 費		477,000	457,835	0		19,163
会 議 費		300,000	298,914	0		1,096
通 信 費		314,000	51,950	261,500		550
諸 雜 費		50,000	42,115	0		7,883
事 業		54,745,700	23,333,299	31,807,824	△ 395,423	
校 地 抵 張 事 業 費		43,635,500	19,647,105	23,988,395	0	
校 地 抵 張 費		58,000	57,780	0		220
休 休 館 駐 員 費		2,000,000	2,090,000	0	△	90,000
第 2 運 動 場 施 設 費		2,500,000	0	2,806,229	△	306,229
記 念 誌		1,539,000	1,538,414	0		586
合 宿 施 設 設 置 資 金		5,013,200	0	5,013,200	0	
行 事		4,458,300	4,288,440	0		169,360
式 典 謹 慶		2,970,000	2,892,950	0		77,050
舞 舞 樂 表 演		196,000	195,170	0		830
同 愛 会 關 係 行 事		80,000	80,000	0		0
記 念 校 事 行 政 事 務		524,000	523,920	0		80
諸 雜 費		638,300	595,500	0		42,800
		50,000	900	0		49,100
財 務		2,602,000	2,514,760	0		87,240
印 刷 費		171,000	171,000	0		0
通 信 費		600,000	591,720	0		8,280
算 算 金		1,681,000	1,679,940	0		1,960
事 務 費		150,000	73,000	0		77,000
予 備 費		100,000	0	0		100,000
		100,000	0	0		100,000
合 計		63,648,000	31,173,176	32,474,824	0	

今後の出納事務の管理は学校後援会に一任し、監査を実施する。

名古屋支部だより

名古屋支部長 川瀬正一（昭2）

関西支部だより

関西支部長 関谷秀市

会員の皆様には益々御清栄のことお喜び申し上げます。名古屋支部の会員は新名簿が出来、在籍者一、〇六三名（男五六〇名、女五〇三名）になり去年より大分ふえました。

五十五年十二月二十日、名古屋郵便貯金会館で五十五年度総会を開催しました。出席者は五十六名、本部から井深同窓会長、八代副会長、関谷校長、飯尾教頭、富田事務局長の五名来て戴き、母校の近況、新運動場の募金結果等の報告がありました。

又、山田武夫君（昭10）の名司会により、自己紹介、テーブルスピーチ、歌等も出て愉快な一日でした。

次回からは若手、女子会員も含めて沢山出来、在籍者一、〇六三名（男五六〇名、女五〇三名）になり去年より大分ふえました。

終りに同窓会諸兄諸姉の御発展をお祈り申し上げます。

京都一二五、兵庫七〇その他五五。約五〇〇名であります。

昨年は母校の創立六〇周年に当り、当支部も八月九日大阪弥生会館で総会を開いた。酷暑のさ中、井深会長、関谷校長、八代副会長並に富田先生の御出席を得て一同感謝し、また記念事業への御熱意に感銘を深くしました。

さて、会員の皆様には何かと御多用のことと思いますが、年に一度の総会には一人でも多く参加して御協力下さるようお願い致します。本年は「ポートピア81」を記念して神戸で四月中旬に開催することにしております。どうか多数御出席して下さいまして、「本巣を語り」そしてより一層親睦を図り、有意義な総会になるよう意願しております。

未筆ながら、母校並に会員各位の御発展と御多幸をお祈り申し上げます。

高等学校七〇名)が決まりました。この方々と支部運営についての話し合い、又初顔合せの目的で十一月二十九日、中央青少年会館でク拉斯代表会を催しましたが五六名(中学校一八名、女学校二〇名、高等学校一八名)もの多数出席で、尚当日中学二二回卒のクニコバやしひろし先生のお話もあって誠に盛会でありました。

この会合で当支部総会は毎年一回、そして本年は春頃開くことに決りました。

母校及同窓会のご発展を心からお祈り申しあげます。

(昭12) 沖昌隆 (昭13) 小島正良・竹中信行  
沢照夫・大場邦夫 (昭19) 平野正毅・清水清  
・堀太郎・北川辰己 (昭20) 郷博雄 (昭21)  
林奈良枝 (昭22) 川崎守 (昭23) 杉村賢二  
(昭24) 神村知宏・松尾弘・野田武子 (昭25)  
国枝進・鶴見齊・鶴見恭裕・福田幹夫  
(昭29) 山内弘司・村木務・社本幸子 (昭30)  
近藤昌美 (昭31) 林英雄・箕浦晃・脇田義  
三男 (昭32) 原清子 (昭33) 福富英行 (昭34)  
棚橋聰夫 (昭37) 吉尾豪 (昭38) 後藤寿  
太郎 (昭41) 山田淳子 (昭47)

揖斐郡教職員同窓会

揖斐郡では毎年一回、揖斐郡に在住、又は在職する本巣高校（旧中学・高女）卒業生による同窓会が開かれていたが、本年は二月七日（土）午後三時半より大野町の魚千代で三十名余の出席をえて開かれた。

